

広大通信

発行/広島大学広報グループ



【連絡先】
広島大学広報グループ
〒739-8511 広島市鏡山1-3-2
☎082-424-6131 ☒082-424-6040
E-mail: koho@office.hiroshima-u.ac.jp

平成29年度 文科省事業 採択 「大学の世界展開力強化事業」

平成29年度の文部科学省「大学の世界展開力強化事業」ロシア、インド等との大学間交流形成支援タイプA: 交流推進プログラム(インド)に、本学のプログラムが採択された。
今後5年間、インドの協定大学と協働し、日印の社会課題解決に貢献する次世代のリーダーを育成するとともに、日印協定大学間の共同学位プログラム「国際リサーチ型学位プログラム」の構築を目指していく。

「大学の世界展開力強化事業」は、国際的に活躍できるグローバル人材の育成と大学教育のグローバル展開の強化を目指す。日本人学生の海外留学と外国人学生の戦略的受け入れを行うアジア・米国・欧州などの大学との国際教育連携の取り組みを支援する。

本学が採択されたプログラムは、「先端技術を生かす社会実装するイノベーション人材養成のための国際リサーチ型学位プログラム」で、実施期間は平成29年度から5年間。具体的には、インドの協定大学6大学・研究機関と協働し、参加学生に3つのコースから構成される「日印教育交流パッケージ」を提供する。初級・中級・上級と段階を踏んだコースの実施を通じて、グローバル・コンピテンシー(「グローバル化対応能力を発揮し、多様な世界において、他者のために」の精神を実践できる人材)を育成する。

プログラムは、日印両国に共通して特に優先度が高い「スマートインフラ整備」、「新エネルギー」、「環境

本年度開始 JICAプログラム シリア難民を本学で受け入れ 10月から、I-DEECで研究

国際協力研究科では10月より、内戦が続くシリアの難民1人を留学生として受け入れている。独立行政法人国際協力機構(JICA)の「シリア平和への架け橋・人材育成プログラム」によるもの。本年度は19人が来日し、本学を含む全国11大学が受け入れ先となっている。

学生は8月に来日し、JICAで約3週間、基礎的な日本語や日本の生活習慣などの研修を受けた。国際

協力研究科で1年間研究生として学び、その後、博士課程前期へ進む予定。本プログラムは、昨年5月に日本政府が表明した中東支援策の1つで、JICAが本年度初めて実施する。シリア危機により就学機会を奪われたシリア人の若者に教育の機会を提供し、将来のシリア復興を担う人材を育成する。

第11回 ホームカミングデー 実施内容決定

東広島 11/4
霞・東千田 11/11

第11回ホームカミングデーを11月4日(東広島キャンパス)、11日(霞・東千田キャンパス)に開催する。今年度のホームカミングデースペシャルでは、エジプト考古学者としてテレビでもおなじみの吉村作治氏によるトークショー「エジプト発掘の魅力」をサタケメモリアルホールで行う。

連携市町の物産展、校友会学生チームによるおもてなし企画のほか、学部・研究科でも多彩な企画を予定している。



エジプト考古学者
吉村作治氏

11月4日(土)、5日(日)に東広島キャンパスで、第66回広島大学祭を開催する。総合科学部周辺にて、学生による模擬店の出店や学生サークルによる展示・活動紹介、屋内外企画などを行う予定。今年のテーマは「魔法が思い出になる前に」。

第66回大学祭
「魔法が思い出になる前に」
11/4、5

霞キャンパスでは、大阪大学大学院医学系研究科教授の澤芳樹氏の講演会「心臓病のいまとみらい」を、東千田キャンパスでは、小久保孝雄高松高等裁判所長官による法科大学院講演会を行う。

◆詳細は校友会ウェブサイト参照
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/koyukai>

こうした人材を事業期間後も継続的かつ安定的に輩出するため、事業期間中にインド協定大学と制度調整を重ね、異なる学修制度を効率的に接合させた「国際リサーチ型学位プログラム(ILDP)」の構築を目指す。

今回の公募には全国の国公私立大学から14件の申請があり、本学を含む2件が採択された。本学のプログラムの交流大学は、インド工科大学デリー校など6大学・研究機関。

「お弁当」販売開始 メニューを考案

本学の学生・教員とオタフクソース株式会社が共同で考案したメニューが入った「お弁当」が誕生した。その名も「満福(まんぷく)玉手箱」当。スーパーSPARKで10月

6日から販売を開始している。教育学研究科人間生活教育学専修の大学院生がオタフクソース株式会社の製品を活用。コンセプトは5Hを設定し、この弁当を食べて「うれしい!たのしい!みんなすき!」となる商品をめざした。

オタフクソース株式会社と広島大学は平成28年、食品分野における研究開発、商品企画・経営等の社会科学分野における調査・研究

【毎日の食事を楽しく!5つのH】

- Healthy (健康にやさしい)
- Happy (楽しい!嬉しい!)
- Harmony (みんなで団らん)
- Hiroshima (広島の食材を使用)
- Home Economics (家庭科の学びにつながる)

と広島大学は平成28年、食品分野における研究開発、商品企画・経営等の社会科学分野における調査・研究



学生と企業との商品開発に向けた打ち合わせの様子

